

効率的なまちづくり 立地適正化計画の策定 必要性を検証

問 本市は、今後のまちづくりの方向性として、一定の地域に行政、医療等の都市機能を集約させ、居住地域と交通や情報通信でつなぐコンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成を目指している。国においてもコンパクトシティ推進に向け、立地適正化計画制度を設けている。本計画を策定することで国のさまざまな支援を受けるこ

とができ、民間を含めた施設整備を主要な駅周辺などの核となるべき地域へ誘導することができるとしている。本市でもこの計画を策定するべきだと考えるが、市の考えを聞く。

答 本市は、長期的視点では人口減少となるが、短期的には人口30万人を目指し、まち・ひと・しごと創生総合戦略でさまざまな取り組みを展開している状況である。人口減少を前提とした立地適正化計画策定の必要性については、十分な検証や制度の目的・効果について市民への説明と理解を得る必要があると考える。そのため、他都市の取り組み状況等の情報収集や、国・県が開催する会議に参加するなど調査・研究を重ね慎重に検討していきたい。

独立行政法人化後の市民病院

医療機能や質の向上に一定の成果

医師確保にも柔軟に対応

問 明石市立市民病院の地方独立行政法人化後の取り組みの成果は、

答 明石市立市民病院は、医療の質の向上と患者サービスの充実、経営の健全化を図るため、平成23年10月1日から地方独立行政法人としてスタートした。

新たな体制のもと取り組んできた成果とし

ては、救急総合診療科の立ち上げによる救急医療の強化、地域医療支援病院として地域医療機関との連携強化、地域包括ケア病棟の運用開始、在宅療養後方支援病院としての役割を担ってきたことなどが挙げられる。

その結果、27年度までの第1期中期目標期

西明石のまちづくり 旧国鉄用地の利活用 JRと具体的に検討中

問 明石駅前南地区の再開発が進展しているが、次は西明石の再開発を行うべきだと考える。

特にJR西明石駅については、バリアフリー化などの利便性について課題があるが、今後の方向性を聞く。



南北に分断された西明石のまち

「まちづくりの姿」が取りまとめられた。その中で、西明石駅および駅周辺の安全性と利便性の向上については、最優先課題の一つとされており、西明石駅東口のバリアフリー化については、JR西日本などの関係機関と協議をしているところだ。JR西日本からは駅の構造上の制約や費用面

間の総合評価として、医療や経営の学識経験者からなる評価委員会からは、医療機能や質の向上について、計画に基づく一定の成果があったとの評価を受けた。また、市民病院の役割は、地域で不足する医療機能を担うことである。その役割を維持するための医師確保については、関連大学への働きかけなど医師派



さらなる医療の充実に期待

などさまざまな課題があるというが、旧国鉄清算事業団用地を含めた地区全体で課題解決を検討していく考えだ。

兵庫県後期高齢者医療 広域連合議会議員を選出

後期高齢者医療制度に基づき設置された兵庫県後期高齢者医療広域連合議会は、県内の市町から1人ずつ選ばれた議員で構成されています。明石市では選出議員の任期満了に伴い、副市長である和田満氏(61歳・貴崎3丁目)を引き続き選出しました。

なお、任期は副市長職の任期である平成32年7月9日までです。

教育委員会委員 任命に同意

教育委員会委員として栗岡誠司氏(65歳・魚住町長坂寺)を任命することに同意しました。同氏は、県立明石北高等学校の校長などを歴任し、現在は神戸常盤大学保健科学部医療検査学科で教授を務められています。本市の教育委員は4人で任期は4年です。

議会運営 委員長に聞く



【議会運営委員会】
議会の円滑な運営に必要な協議や意見の調整、法定の事項に関する調査などを担当している委員会

たつみこうじ
辰巳 浩司

在職3期。監査委員、文教厚生常任委員長などを歴任。59歳。

今年度の課題は
時代の流れや市民生活の変化とともに、市議会も変わっていく必要があります。そのため、議会改革が必要な部分についてはしっかりと議論をしていきます。確実な議会運営に努めることは、市民サービスの安定につながっていくと考えており、その重要な役割を確実に果たすという責務を重く受け止めて、委員会として取り組んでいきます。

傍聴について
本会議や委員会は公開しており、傍聴することができます。これらの会議日程は、自治会の掲示板や市民センターなどに掲示しているポスター、市議会だより、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

委員長から一言
市議会が市民の皆様にとって身近な存在となれるよう、より開かれた議会を目指し取り組みを進めていきたいと考えています。市民の皆様には、直接見ていただきたいと考えておりますので、ぜひ傍聴にお越しください。

あかしまちづくり推進 特別委員長に聞く



【あかしまちづくり推進特別委員会】
中心市街地再整備や市制施行100周年記念事業、庁舎建設、あかしまちづくりに係る総合調整に関することを担当している委員会

いとうけいずい
井藤 圭滯

在職5期。議長、副議長、議会運営委員長、文教厚生常任委員長などを歴任。71歳。

重点的に取り組む事項
平成31年に市制施行100周年を迎えます。その記念事業の計画案を作成し、具体的な取り組みを議論していきたいと考えています。さらに同年は明石城築城400周年でもあり、多方面との連携について検討し、市全体が盛り上がる事業にしたいと思っています。

また、現在の市庁舎は建設から45年以上が経過し、耐用年数の50年が迫っています。新庁舎についての方向性を示す必要があり、直近の課題だけでなく、20年30年先の明石を見据えて知恵を出し、考えていくことが大切です。具体案を検討する中で、魅力あるまちづくりを目指し、議論していきます。

委員長から一言
市民一人一人の気持ちや活力が本市のまちづくり推進のためには必要です。特に市制施行100周年記念事業は市民の皆様からご協力いただくことで、一層盛り上がる事業にしたいと考えていますので、今後とも温かいご支援、ご協力をよろしくお願ひします。